



はちやま

はちやま・一商鉢山会会報 No.58

題字：黒田 保先生 発行所：都立一商同窓会事務局

“一商はちやま会宣言”一商同窓会の旗印に 同窓会員への貢献、学校への貢献、在校生への貢献の3本柱を立てる

昨年10月に新体制となった一商同窓会。その前の2年間はコロナ禍でほとんど息を絶え絶えさせながらも、なんとか会報56号と57号の発行にこぎ着けました。それまで、後期高齢者が孤軍奮闘していたところに、瀧澤さん(57期)、茨田さん(68期)、上野さん(84期)、そして冨澤さん(93期)…と約20歳~50歳も若返ったスタッフが加わり、その上、大先輩の藤田さん、飯泉さん、大橋さん、中澤さん、井上さん、山本(剛)さん、山崎さん、飯塚さん、太田さんと多くの方のサポートをいただきながら、なんとか未来への展望が拓けるところまでたどり着きました。



そして、長年の大きな悩みだった事務所家賃の問題も、ヴィラ桜が丘へ移転したことで一応の決着がつき“一商は

ちやま会宣言”を掲げて同窓会活動が再開できるようになりました。

このように一商同窓会が再生し新たなスタートを切れるようになったのは、新たに加わってくれたスタッフの皆さん、多くの先輩諸氏そして会員の皆さまの篤いご支援のおかげと思ひ感謝の意を表します。

そして、一商同窓会の新たな在り方を“一商はちやま会宣言”として、その活動は、会員(卒業生)、母校、在校生の3者それぞれに役に立つことを志向する、と規定しようと考えています。そのような意図を込めた活動は、結果として、会員(卒業生)、母校、在校生そして社会への貢献につながり、それにより得られる同窓会の対価は“信頼”であり“強いきずな”であり“伝統の継承”ということになると確信しています。

一商同窓会本部役員を代表して 会長 福崎 達哉

渋谷学が始まりました

東京都立第一商業高等学校長 平野 篤士

一商は今春、第101期の新入生210名を迎えました。今年の新入生は記念すべき101回目の入学生というだけではなく、大きな節目の年に迎える生徒でもあります。それは新しい学習指導要領が始まる初年度の生徒と言うことです。今回の学習指導要領では、探究的な学びが大きな柱となり、科目の再編が実施されました。これまでの日本史Bや地理Bはそれぞれ歴史探究や地理探究という科目に変わり、理数探究という科目を導入する学校もあります。



一商は、昨年度、東京都教育委員会より地域探究推進校の指定を受け、学校が所在する地域<渋谷>に関する探究学習に取り組むこととし、同時に本校のスクールミッションを「ビジネスの知識と技能を活かし、地域に貢献する」と改めました。これまで自分自身の就職や進学のために学んできた商業科目の技能を地域貢献のためにも役立てる学

校を目指そうということです。

しかし地域に貢献するためには、何より先にこの地域<渋谷>に関する十分な知見を得る必要があります。そのために注目したのが「渋谷学」でした。渋谷学は元々、國學院大學の研究開発推進センターが中心となって研究を始めた地域科学(リージョナルサイエンス)で、都内では早稲田大学が研究する新宿学などと並んで歴史のある研究です。私たちは同大の御協力の下、高校生版の渋谷学の授業を行って、渋谷区外から通う生徒も含め、すべての生徒に渋谷を深掘りして学ばせ、広範な知識を得て欲しいと考えています。

1年生はすでに渋谷学のオリエンテーションを受け、教科横断的に渋谷について学ぶとともに、課題解決のツールとなるビジネスの知識・技能を身につける勉強にも取り組んでいます。昨年度はこの渋谷学を多くの中学校を訪れて生徒にアピールした成果もあり、今春の入試の最終応募倍率では、推薦入試1.63倍、一般入試1.05倍と人気も上々でした。これから渋谷学を本校の魅力ある教育コンテンツとしてさらに磨きをかけ、本校の教育の柱として地域に貢献できる人材を育てていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

TOPICS

トピックス

同窓会の事務所が南平台からお隣の桜丘に移転しました

令和4年2月、7年間親しんできた南平台から同じ渋谷区内桜丘のビルに引っ越しました。立地は東急セルリアンタワー東急ホテルのちょうど裏側です。面積は南平台事務所の約2/3、ぎりぎり10名程度の会議ができるほどの広さです。駅近で一商にも近いので仕事をするには便利です。

この移転の目的は、かねて悩みの種だった高額な家賃(といっても立地と面積では相場の範囲内)の節減です。以前に比べて年間60万円低減することになります。

今回の事務所移転が行われた経緯は、南平台事務所の契約終了が令和4年3月末であり、更新する場合は月額賃料3,800円増となることから更新はできないと判断されたこと、短い時間の中でしたが手を尽くして探した移転先は、家賃などの条件が折り合い、実物も実地検分です事務所に適当と判断されたため、令和3年11月13日に開催した定例役員会に図りこの事務所を賃借することを決めました。

本来は、事務所移転は総会の決議事項とされるものですが、緊急を要したため定例役員会で決定後、次の総会において報告し、事後承認していただくことになりました。

同窓会役員用に名刺と名刺入れをつくりました

今年、99期の学年幹事、クラス幹事さん、それに本部役員に「名刺」と「名刺入れ」を造りお渡ししました。

おそらく、99期学年幹事、クラス幹事の皆さんにとっては、生まれて初めての自分の名前が入った「名刺」だったのではないのでしょうか。その方々には、初めての「名刺」が同窓会役員としてのものだったとして長く記憶に残っていくことでしょう。でも、そのために「名刺」をお渡ししたわけではありません。

ご自分が同窓会の役員である証し。その「名刺」と「名刺入れ」を持つことで、一商同窓会の役員としての自覚を持って、クラスメイトや部活の仲間たちとのつながりを大切にしてほしいのです。また、何かあったら名刺に書かれている電話やメールで同窓会に相談してくれてもよい、そ

のような思いを込めました。同窓会は皆さんの仲間だということを忘れないようにしてください。

この文章を読まれて、99期以外の常任理事、理事、学年幹事、クラス幹事の方、私も「名刺」と「名刺入れ」が欲しいと思われたら「連絡はがき」で請求してください。

損保ジャパンキャリアビューロー社の社長に就任

…小平恵子さん58期(1981年卒)

2020年、人材派遣を担う損保ジャパンキャリアビューローの社長に就いた。損保ジャパンのグループ企業では2人目の一般職出身の女性社長だ。「経営者になるとは夢にも考えていなかった」。高校(一商)卒業後、旧安田火災海上保険に入社した。男性総合職の指示を受け、保険料の計算などをこなす日々。「補助的な役割に何の疑いも持っていなかった」と振り返る。現場でプロとして重宝される一方で、次第に本社が作る煩雑な規定や保険商品に不満を持つようになる。「分かりやすい商品の開発に携わりたい」。そんな思いを募らせていった。

転機が訪れたのは入社から16年目だ。本社の企業営業推進部に異動した。喜んだのもつかの間、与えられたのは全く希望していなかった「業務インストラクター」の仕事だった。嫌々ながら就いた仕事。それでも手は抜かなかった。全国各地の代理店に足を運び、業務の相談に乗る。社員研修にも力を入れた。気がつくと「現場の役に立っているという実感を得て、喜びを感じるようになっていた」。転動のない「エリア職」では最高位となる業務課長に就いた。まもなく異動した人事部で「会社人生最大の壁」にぶつかる。産休に入った後輩の穴埋めとして、業務課長でありながらデータ入力作業など事務処理を任されたのだ。「男性だったらキャリア上『やらなくていいこと』なのに、と愕然とした」やるせなさを抱きつつ、ここでも仕事には手を抜かなかった。「やるしかない」。黙々と目の前の事務作業をこなした。そんな姿を周囲は見ていた。人事グループの課長、会計統括部長を経て20年、担当役員に呼ばれた。「次は損保ジャパンキャリアビューローの社長だから」と言われた。(日経電子版から、一部要約)

損保ジャパンキャリアビューロー社は人材派遣やアウトソーシングを仕事にしている会社で、年商40億円、従業員数(派遣先就業者を含め)1154名、健康経営をモットーにしています。(同社社案内から一部抜粋)

目次

“一商はちやま会宣言”一商同窓会の旗印に

●一商同窓会会長 福崎達哉…1
渋谷学が始まりました

●都立一商高等学校校長 平野 篤士…1
トピックス…2

都立一商同窓会会則改定案が固まる…3

一商短信/先払年会費制を廃止し入会金制に変更します/
役員は満80歳で名誉職に移行します…9

「朋あり遠方より来る また楽しからずや」…10

祝入会!! 99期生のご紹介…17

公益財団法人一商奨学会 お礼とご挨拶…18

一商ブログを覗いてみたら…19

鉢山俳句会報告●飯泉善一郎…19

令和3年度賛助会費および年会費報告…20

令和3年度都立一商同窓会会計報告…22

イベントご案内/編集雑記…23

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● **都立一商同窓会** <http://www.isshou.jp/> **検索** 

都立一商同窓会会則改定案が固まる

「新しい酒は新しい革袋に盛れ」この言葉は、紀元85年頃、マタイの福音書に記されたものと言われ、組織の在り方として今もなお通じている金言です。そんな大袈裟に言うまでもないのですが、新体制発足の準備段階から現行会則改定の必要性が求められていました。

特に、総会人事が会長と監事だけ（会長独裁の危険）、会長の連続3選禁止（なり手がいないことで空文化）、委員会制度がほとんど実務に即しておらず有名無実、かつて常任理事(学年代表)理事(クラス代表)だった役員の位置づけが不明瞭…これらが焦眉の急と認識されていました。

そこで、新執行部で会則改定の検討が行われ、総会にかける改定案が固まりましたのでご紹介します。

今回の改定案のポイントは大きく3つあります。

第1点は「前文・一商はちやま宣言」で一商同窓会の根本的な在り方を規定したことです。

第2点は、内部組織体制の再整備…役員（学年・クラス代表）の役割明確化、新入生の「準会員」制創設、本部役員の選出方法の変更（常任理事として、会長、監事と共に総会決議によることに）、会長任期制限（3期）撤廃などです。

第3点は、新卒・新入会員から徴収していた「先払い会費」制（会費10年分の半額・12,000円）を「入会金」制（10,000

円）への変更です。

特に、第1点「前文・一商はちやま宣言」は、会員の皆さまには耳慣れない見慣れない、会則でもない“なんじゃこれは？”と思われる方もおられるかもしれませんので、提案者から、この宣言に込められた意図をご説明させていただきます。

検討し始めの段階で、他校の会則などをも参考に見直しを行って行く中、同窓会の目的の多くは単に、親睦やら母校の発展などと書かれてはいるものの、その形式的過ぎて中身が今一つびんと来るものがありませんでした。

そのようなことから、私たち一商同窓会は何のために存在するのか。会員に対して、母校に対して、在校生に対して、社会に対して、どのような意義や有用性があるのか、ないのか。将来に向かってはどうか。私たちは考えを巡らせました。その結果が「前文・一商はちやま宣言」になりました。

一見すると、仰々しく感じられるかもしれませんが、この宣言は同窓会運営を担う私たちの心構え、会員の皆さまへの約束のようなものです。この会報をお読みいただいた方々、各種行事にご参加いただいた皆さまが、面白かった、楽しかった、役に立ったと思っていただけたら、それが貢献ではないかと考えています。

「前文・一商はちやま会宣言」

コロナ禍とウクライナ事態などの発生を機に日本社会の在り方が根本的に変わろうとしています。それは日本における戦後の純粋平和主義ともいえる成功体験の有効性が失われはじめたということの意味しています。

都立一商同窓会は、コロナ禍以前の古いアナログ体質から社会の変化に適応できるデジタル体質に“転換”させ、母校と共に永く存続させていく意思を明確にすることを意図し、次の「前文・一商はちやま会宣言」を發出します。

1. 会員(同窓生)への貢献

同窓生相互の友情やきずなの大切さを再認識するための楽しく有意義な親睦会を提案しプロモートしていきます。

2. 母校発展への貢献

母校が輩出してきた先輩の多くが、社会に有用な人材(人財)だと評価されてきたことが、商業高校としての母校の「評価」と「名声」の源泉となっています。私たちは、そのような先輩方が築いてくれた歴史と伝統を引き継ぐと共に更に深化させ、次代へ繋げていくよう努力していきます。

3. 在校生(準会員)への貢献

公益財団法人一商奨学会による奨学金の給付（育英、短期海外留学）、部活動応援、一商同窓会長賞（成績、部活動、善行3部門）などの施策を通じて在校生が健康的に成長していくことに貢献していきます。

現行会則

「東京都立第一商業高等学校同窓会会則」

第1条(名称)

本会は東京都立第一商業高等学校同窓会(以下本会)と称し、愛称を一商鉢山会とする。

第2条(事務所)

本会は、事務所を東京都内に置く。

2. 支部は、総会の決議を得て、任意の地に置くことができる。
3. 事務所の使用に際しては、別に定める本会事務所使用規則を遵守する。

第3条(目的)

本会は、会員相互の親睦を図り、母校の隆盛を期すことを目的とする。

2. 前項の目的を達成するため次の各号に掲げる事業を行う。
 - ① 会報の発行
 - ② 親睦活動の推進
 - ③ 母校の教育活動への支援
 - ④ 母校の歴史資料の収集及び保存
 - ⑤ その他必要な事業

第4条(会員)

本会の会員は、一般会員及び特別会員とする。

2. 一般会員は、東京府立第一商業学校・東京都立第一商業学校・東京都立第一商業新制高等学校・東京都立第一商業高等学校の卒業生とし、特別会員は母校現教職職員及び前職教職員とする。
3. 母校を中途退学した生徒で会員が推薦し理事会が承認した者は一般会員に加えることができる。

第5条(役員)

本会に次の役員を置く。

- ① 会長 1名
- ② 副会長 若干名

会則改定案 (改定案は太字)

「東京都立第一商業高等学校同窓会(一商はちやま会)会則」

第1条(名称)

本会は東京都立第一商業高等学校同窓会(一商はちやま会)と称する。

第2条(事務所)

本会は、事務所を東京都渋谷区内に置く。

2. 事務所の使用に際しては、別に定める本会事務所使用規則による。

第3条(目的)

本会は、一商はちやま会宣言にのっとり、会員相互の親睦を通じて教養と健康の向上を図り、また、母校の発展と在校生の健康的な成長を育成することを目的とする。

2. 前項の目的を達成するため次の各号に掲げる事業を行う。
 - (1) 会報及びE・Mail、ライン等電子媒体を通じた会員向けの情報発信
 - (2) 同窓生相互が再会・交流するための親睦会等の開催及び支援
 - (3) 母校の教育活動への支援及び特段に活躍した在校生に対する表彰
 - (4) 関係団体(一商奨学会)への業務支援
 - (5) 会員名簿の管理その他本会の目的を達するために必要な事業

第4条(会員)

本会は、次の会員をもって組織する。

- ① **正会員**は、東京府立第一商業学校・東京都立第一商業学校・東京都立第一商業新制高等学校・東京都立第一商業高等学校の卒業生とする。
- ② **準会員**は、**在籍中の本校生徒で入学時に同窓会準会員としての入会申込書を提出した者とする。**
- ③ **特別会員**は東京都立第一商業高等学校の前・現教職職員とする
2. **母校を中途退学した生徒及び卒業時当会に入会しなかった者で、会員が推薦し本人から入会の申し出があった場合と本人が入会を希望し理事会が承認した者は正会員に加えることができる。**

第5条(役員)

本会に次の役員を置く。

- ① **会長** 1名
- ② **副会長** 若干名

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● **都立一商同窓会** <http://www.isshou.jp/>

現行会則

- ③ 常任理事 若干名
- ④ 理事 若干名
- ⑤ 監事 2名以上

第6条(役員任期)

会長、副会長、常任理事及び理事並びに監事の任期は、選出が承認された定時総会以後翌々年の定時総会終了までの2年間とする。但し、再任を妨げない。

2. 会長は3選を上限とする。
3. 補欠の役員任期は、前任者の残任期間とする。
4. 任期の満了または辞任によって退任する役員は、後任の役員が就任するまでの間、引き続きその会務を行う。

第7条(会長)

会長は、本会を代表し会務を統括する。

2. 会長は副会長、常任理事及び理事を選任又は解任し、必要に応じて、事務員を採用又は解雇することができる。
3. 会長は、委員会を設置することができる。
4. 会長は、一般会員の中より名誉会長、最高顧問、顧問又は相談役を委嘱することができる。また現職の校長及び副校長を特別顧問に、前職の校長を名誉顧問とすることができる。

第8条(副会長)

副会長は、会長を補佐して会務を執行し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、会長代行としてその会務を執行する。

2. 前項の場合、副会長は、会長があらかじめ定める順位に従い会長代行として会務を執行する。

会則改定案 (改定案は太字)

- ③ 常任理事 若干名
- ④ 理事 毎卒業年次クラス毎に互選された若干名
ただし、令和元年7月20日付会則改正第15条(幹事)により選任された幹事及び平成28年6月24日会則改正第5条(役員)第1項3号(常任理事)により選任された常任理事は、それぞれ理事に読み替える。
- ⑤ 監事 2名以上
- ⑥ 顧問 若干名

2. 常任理事及び監事は総会に於いて選出する。
3. 会長及び副会長は選出された常任理事の中から互選する。
4. 顧問は、会長が本会役員経験者の中から指名した者とする。

第6条(役員任期)

役員任期は選任された定時総会から翌々年度に開催される定時総会の終了時までの2年とし再任を妨げない。

2. 任期の満了または辞任によって退任する役員は、後任の役員が就任するまでの間、引き続きその会務を行う。

第7条(会長、副会長)

会長は本会を代表する。副会長は会長を補佐し、会長に不測の事態が生じた場合はこれを代行する。

第8条(常任理事)

常任理事は会務を分担して処理する。

2. 総務・企画担当(事務局)
 - ① 会則改正の原案作成
 - ② 会員名簿の管理
 - ③ 収支予算案及び収支決算報告の作成
 - ④ 年会費及び賛助金等並びに日常経費等の入出金管理
 - ⑤ 関係団体(一商奨学会)への業務支援
 - ⑥ 母校、他校同窓会との渉外窓口
 - ⑦ 一商同窓会長賞運営管理
 - ⑧ 同窓会周年行事の検討と実施
3. 広報・組織担当
 - ① 会報(「一商小史」「一商同窓会の葉」を含む)及びホームページ(公益財団法人一商奨学会を含む)並びにメールマガジンの制作、編集等各種情報の発信
 - ② E-Mail、ライン等電子媒体を通じた理事連絡組織の運営
 - ③ 各期同期会開催支援
 - ④ 一商図書館での同窓生執筆図書コーナーの開設と運営
4. 親睦活動担当

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

現行会則

第9条(常任理事、理事)

常任理事及び理事は副会長の会務執行を補助する。

第10条(監事)

監事は、本会の会務の執行及び財産の状況を監査しその結果を総会に報告しなければならない。

2. 監事は、理事会等に出席して意見を述べることができる。

第11条(名誉会長・顧問・相談役等)

第7条第4項の規定による名誉会長、最高顧問、顧問及び相談役は、重要事項について会長の諮問を受け答申する。

第12条(総会)

総会は、本会の最高意思決定機関とし、定時総会及び臨時総会とする。

定時総会は、毎年1回会長が招集する。新会計年度開始以後原則として4か月以内に行う。

3. 臨時総会は、会長が必要と認める場合に招集する。
4. 総会の議長は、会長が務める。
5. 総会は次に定める事項を決議する。
 - ① 会長及び監事の選任
 - ② 収支決算、事業報告、収支予算案及び事業計画案の承認
 - ③ 会則の改正
 - ④ その他本会の重要事項
6. 総会の議事は、出席会員の過半数により決し、可否同数の場合には、議長の決するところによる。

但し、会則の改正に関する議事は出席会員の3分の2以上により決する。

第13条(正副会長会)

会長及び副会長にて正副会長会を構成し、会則又は総会の決議により定められた事項及び会長が委嘱する事項を執行する。

2. 正副会長は、総会又は理事会に諮る案件、その他会長が委嘱する事項について審議する。前条第6項の規定は、決議を要する場合に準用する。
3. 会長が指名した副会長は、会長の指示がある場合、副会長会議を招集し、審議結果を会長に報告し、会長の承認を得なければならない。

会則改定案 (改定案は太字)

- ① 教養・健康向上に寄与する会員相互の親睦活動の実施及び支援
- ② 東京校歌祭への参加
- ③ 母校部活動への支援

第9条(理事)

理事は、第17条(理事会)で定める理事会に出席し、提案された議案に学年乃至クラスを代表して自己の意見を表明すると共に採決に参加することに努めなければならない。

2. 理事は同一年次正会員に対し、会費納入を促すと共に各種イベントへの参加を勧誘することに努めるものとする。

第10条(監事)

監事は、本会の会務の執行及び財産の状況を監査しその結果を総会に報告しなければならない。

2. 監事は、総会及び常任理事会並びに理事会に出席して意見を述べることができる。

第11条(顧問・名誉職)

顧問は、必要に応じ常任理事会及び理事会に出席し、当会の運営全般にわたる意見を述べることができる。

2. 理事は定時総会時満80歳到達をもって名誉職に移行する。
3. 名誉職に移行した者は以降会務の責任を免れることができる。

第12条(会議)

本会の会議は次の通りとし、各会議の議長は会長が務める。

- (1) 定時総会及び臨時総会
- (2) 常任理事会
- (3) 理事会

第13条(議決の成立)

総会及び各会議の議事は、出席会員の過半数により決し、可否同数の場合には、議長の決するところによる。但し、会則の改正に関する議事は出席会員の3分の2以上により決する。

現行会則**第14条(理事会)**

理事会は、会長、副会長、常任理事及び理事にて構成する。

前条第3項の規定は、前項の規定による会議に準用する。

第15条(幹事)

幹事は、卒業年度毎のクラス代表として同窓会とクラス員相互の連絡を十分に取るため、クラス代表の中から、互選により選出し、会務の執行に協力する。

2. 幹事は任期を定めず、任期の途中で辞任するときは、必ず代替りの者を決めて会長に書面にて申し出るものとする。

第16条(事務局)

本会の会務を円滑に推進するため事務局を置く。

2. 事務局に会長が指名する事務局長を置く。
3. 事務局は、会の運営に関わる業務、議事録の作成及び会計・庶務等の事務会務を主管するとともに必要に応じて各会議の事務を補完・支援する。

第17条(委員会)

委員会は、会務の執行を推進するため設置される。

2. 委員会の委員長は常任理事の中から会長が委嘱する。委員長は副会長の指示の下に担当する会務を行う。
3. 委員会の副委員長及び委員は、一般会員の中から委員長が推薦し副会長が委嘱する。
4. 会務を執行するため必要がある場合、合同正副委員長会議を開催することができる。この場合、会長又は会長が指名する副会長が議長となる。
5. 委員長及び副委員長の任期は、2年とし再任を妨げない。
6. 会長は、必要に応じて委員会の新設及び統廃合を行うことができる。

第18条(会計)

本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

2. 本会の経費は、別に定める会費その他から支弁する。
3. 本会は第7条第2項の規定による事務員の報酬を支払うことができる。第13条第1項、同条第3項及び会長が指定する各会議に要する交通費、その他会長が認める実費経費は本会が支弁する。但、会長は正副会長の議を経て本条による支弁経費の額の上限を設定することができる。
4. 年会費及び賛助会費並びに寄付金以外の収入は賛助会費に繰り入れるものとする。
5. 本会の会計事務は、会長が指名した副会長が統括し

会則改定案 (改定案は太字)**第14条(定時総会及び臨時総会)**

定時総会は毎年1回、原則として決算終了後、4か月以内に会長が招集する。ただし、**流行性疾患の蔓延など人の集まりが制限される状況になった場合は、紙面(会報等)又は電磁的方法を利用したみなし総会を行うことができるものとする。**

2. 会長が必要と認めるときは臨時総会を開くことができる。
3. 総会の議長は会長が務める。
4. 総会で付議され承認されるべき事項は次の通りとする。
 - ① **常任理事及び監事の選任**
 - ② **事業計画案並びに事業実施報告**
 - ② **収支予算案及び決算報告並びに監査報告**
 - ③ **会則の改正及び規則の制定**
 - ④ **その他の重要事項**

第15条(常任理事会)

常任理事会は定例会として会長が招集し次の事項を行う。

- (1) **総会及び理事会に提出すべき議案の審議**
- (2) **各担当業務の課題進捗状況管理**
- (3) **緊急を要する事項の審議並びに処理**
- (4) **その他の必要な事項の処理**

第16条(理事会)

理事会は会長が招集し次の事項を行う。

- (1) **総会付議議案の事前審議**
- ② **その他の重要かつ必要な事項の審議**

第17条(会計年度)

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第18条(収入)

本会の収入は下記項目の収入による。

- (1) **年会費** 2,400円
- (2) **入会金** 10,000円
準会員が支払う入会金は、卒業により準会員から正会員に切り替えられる時点で、学校積立金より徴収する。入会金支払者は、卒業後、5年間の会費徴収を免除する。
- (3) **賛助金**

現行会則

事務員が補佐する。

第19条(会費その他)

本会の会費は、以下の各号に定める。

- ①年会費 2,400円
- ②先払い年会費 12,000円

2. 新卒会員が支払う先払い年会費は、同窓会年会費半額の10年分の12,000円とし、同窓会入会同意書を入手した後学校積立金より徴収する。

第20条(会則の改正)

この会則の改正は、総会の決議により改正することができる。

附則

1. 平成11年10月22日改正の会則は、平成11年10月22日から効力を発する。
2. 平成13年6月19日改正の会則は、平成13年6月19日から効力を発する。
3. 平成24年6月2日改正の会則は、平成24年6月2日から効力を発する。
4. 平成25年6月23日改正の会則は、平成25年6月23日から効力を発する。
5. 旧会則第14条第1項第2号(終身会費5,000円は平成27年3月の卒業生を以てこれを廃止する)は、これを削除する。
6. 平成28年6月25日改正の会則は、平成28年6月25日から効力を発する。
7. 令和元年7月20日改正の会則は、令和元年7月20日から効力を発する。

会則改定案(改定案は太字)

正会員から賛助金として指定された金額及び指定がなく第1項第1号の年会費以外の年度受入れた金額は賛助金として扱う。

- (4) 広告料
会報、ホームページ等への広告掲載料金。
- (5) その他の収入
有償頒布物品の対価その他

第19条(経費)

経費は前条(収入)をもって支弁する。

2. 常任理事による会務遂行にかかる諸経費(交通費その他諸経費)の実費は経費として処理できる。

第20条(会則の改正)

この会則の改正は、総会の決議により改正することができる。

附則

1. 平成11年10月22日改正の会則は、平成11年10月22日から効力を発する。
2. 平成13年6月19日改正の会則は、平成13年6月19日から効力を発する。
3. 平成24年6月2日改正の会則は、平成24年6月2日から効力を発する。
4. 平成25年6月23日改正の会則は、平成25年6月23日から効力を発する。
5. 旧会則第14条第1項第2号(終身会費5,000円は平成27年3月の卒業生を以てこれを廃止する)は、これを削除する。
6. 平成28年6月25日改正の会則は、平成28年6月25日から効力を発する。
7. 令和元年7月20日改正の会則は、令和元年7月20日から効力を発する。
8. 令和4年7月23日改正の会則は、令和4年7月23日から効力を発する。

北都システム株式会社

知ることは、このうえない喜び。
 知ることは、かけがえのない宝。
 俳句や和歌で用いられてきた用語の
 意味や使い方を知ること、
 新たな創造力が誘われる。
 数多の用語を凝縮。
 いつでもどこでも、知の扉をひらけます。

俳句・和歌
用語が
5万語以上



スマホでひらく、知の扉

さざれいし
細石
 スマートフォン用アプリ
 第39期生 大庭浩司

App Store



Google Play



●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>



令和4年4月1日付人事異動

転入された先生方、ようこそ都立一商へ。一商ならではの充実した教員生活を楽しんでください。
 転出された先生方、有難うございました。転任先で更なるご活躍されることを期待しています。

(敬称略)

(転入)		(転出)	
副校長	鎌守真由美(商業 保谷)	副校長	岩崎 豊(第四商業)
主任教諭	小田金実平(国語 桜修館)	主任教諭	笠原 紀一(大森)
	羽部 千聡(国語 六本木)		櫻井 敏雄(定年退職)
	代田 有紀(公民 荻窪)		長内 清美(園芸)
	田中 雅司(英語 府中東)		市川はるみ(大田桜台)
教諭	山本瑠美子(保体 千早)	教諭	紫垣 紗和(総合工科)
	菊田奈々香(家庭 芦花)		伊藤 和明(大森)
	川口喜代子(商業 荒川商)		塚田 舞弓(新宿)
			小平 晴子(普通退職)
			小林 彩来(退職)
経営企画室長	清水 彰(総合工科)	経営企画室長	阿部 正克(勧奨退職)
主事	市川 雅代(田柄)	主事	本郷 葉(国際)

先払年会費制を廃止し入会金制に変更します

(卒業時、12,000円…年会費10年分の半額を入会金10,000円…5年分の年会費免除へ)

平成25年度(90期)に運用開始された先払年会費制ですが、12,000円という金額が学校積立金の残余金からでも生徒家庭には支払うことができない、そのような状況にある家庭が少なからずあるようです。

99期178名中の35名。多くの級友たちが入会するのを横目に、入会できないことの口惜しさ・つらさを我慢し、家計を考えて入会しない、という選択をしたのかもしれない。

35名の同窓会入会からの欠落。その事態を同窓会ばかりでなく、校長、副校長そして担任の先生方も深刻に受け止め、関係者が集まって相談しました。学校側からは12,000円という金額が生徒の家庭の中には高すぎる10,000円が限度ではないか、他校よりかなり高額だ、という意見がありました。ま

た、ほとんどの在校生は同窓会を自身とは関係のないものと思っている。入会を確実にするには、新入時に入会申込みをさせるとよい、そのような意見もありました。

また、担任が入会を強制しているという苦情が寄せられ、その対応に担任が苦慮しているという話もありました。

同窓会では、3月12日に定例役員会でその議論を参考に対応を検討し、現状をそのまま放置はできないことを確認しました。そして、入会拒否を可能な限り抑えるため現行の先払年会費制を廃止し、入会金制(10,000円)にすること、併せて、生徒の入学時に「準会員」として入会申込を受け付けることを決定しました。

役員は満80歳で名誉職に移行します (新会則案第11条2項3項)

現在、同窓会の役員構成と人数は、本部役員が執行役員14名、顧問6名、と監事2名の22名。各学年を代表する常任理事(学年幹事)は113名(内80歳(38期)以上は22名)、クラス選出理事(クラス幹事)は434名(内80歳(38期)以上は99名)合わせて547名となっています。

前々次の会則では、常任理事は各学年の代表であり、総会前の常任理事会開催が規定され、実際に総会付議事項を審査するという手続きが執行されていました。しかし、前会則では常任理事の位置付けが学年代表から本部役員となり、学年代表としての常任理事は有名無実なものとなってしまいました。

この問題は、今回の会則改定にあたっての重大課題の一つでした。それは、同窓会の運営が会長主導のもとで限られた本部役員の考えや意向だけで行われ、会員各層の意見や要望がほとんど反映されないという認識です。会員各層の考えや意見をどう同窓会活動に反映させていくことができるのか、という問題でもありました。

それは、母校の歴史の長さから必然的に生じてくる、常任理事113名、理事434名、合わせて547名という人数の多さです。その547名の方も時間が経つにつれ住所が替わったり、

同窓会への関心がなくなったりしている方もいることでしょう。しかも、連絡をとろうとすると、そこには通信費の問題がでてきます。もっとも、Eメールが使えれば簡単に廉価ですが、郵送となるとA4判1枚の文書を封筒で郵送するのに84円、547通で約4万6千円もかかるという問題もあります。

そこで、常任理事と理事の中でのひとつの区切りとして、後期高齢(満80歳)以上の方は「名誉理事」として会務から離れ、80歳未満のメンバーが会務を担って活躍していただくような体制にしたいと考えました。もちろん、80歳を超えていても元気がよくしゃく、まだ、若い者には負けない、という方は現役で会務に携わっていただくことは歓迎です。80歳未満の常任理事・理事の方は全員「新理事」になります。

そして、今後、新・理事の方への連絡は、基本的にEメールとラインそして同窓会ホームページでの告知で行わせていただきます。高齢の方にはとつきづらいかもかもしれませんが、時代がアナログからデジタルに変わってしまっていますので、ぜひ、ご了解いただきたく思います。

また、現・理事の方以外で、同窓会活動に関心のある方は、ぜひ、ご参加ください。

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>



「朋あり遠方より来る また楽しからずや」

“遠方の朋”から“あなた”へのメッセージ

今号(58号)に寄せられたショートメッセージ160通、その一つ一つから、きっと、あなたに書き手の心のもった思いがじんわりと伝わってくることでしょう。

このコーナーは書き手と読み手の心をつなぐコミュニケーションステージ、会報読者の掲示板です。ひょっとしたら、在学中に心を寄せたあの方からあなたへのメッセージが入っているかも知れませんよ(^^)ノ。さあ、宝物を探しましょう。

《旧制時代(18期から26期)の皆さんから》

★「会報はちやま57号有難うございました。懐かしく読ませていただきました。学校経営も時代の推移に伴い進化と改革が求められ、ご苦労も多いことと拝察いたします。令和5年には同窓会も100年を迎えるとのこと目出度い限りです。小生はといいますと超高齢(92歳)となり、更にここ1年来の新型コロナ感染症拡大対策に振廻され五官・体力ともに老化が目立つようになりました。令和5年までの延命は望めそうにありませんので、この機会に些少ですが賛助会費を送金させていただきます。同窓会の益々の充実と発展を願ってやみません」

鈴木庄次さん 昭和16年卒業(18期4組)

★「95歳の小生が95歳の妻(要介護1)を2年余り老々介護の生活は、年賀状取り交わしていた同級生もゼロとなりました。あとは天命を待つのみです。同窓会の益々の発展を祈ります」 芹沢輝雄さん 昭和17年卒業(20期4組)

★「私は昭和18年12月繰上卒業(同年は修業年限が5年から4年に変更され、5年生の卒業に合わせて4年生も卒業となった)しました現在95歳4か月の井上常正と申します。在学中は3組3学団と言っていました。(中略)在学中は現文京区関口の椿山荘の近く住んでいましたが、故あって府中に転居、戦後、昭和25年9月青木屋という小菓子店を会社組織にして現在に至っています。95歳ですから現役は20数年前に退任、息子長男が会長を務めております。(中略)府中にも数人一商の卒業生がおりますが(年長者で)当時の一商は難関校でしたから三多摩の小学校の学力では合格しなかったようで2、3名くらいでした。私の手元に昭和14年3月の「吾住録」(先生方が卒業生に送った社会生活の手引き)があります。何かの参考になれば、あるいは、昔はこのようだったと今の生徒さんに見せられたらいいなと思いついたのでご受領ください。(中略)突然のお手紙にて失礼しました。母校の発展を祈っております」

(令和3年8月一商校長宛のお手紙から一部抜粋)

井上常正さん 昭和18年12月卒業(21期)

「菓子の青木屋」は明治26年(1893)府中・大國魂神社境内で開店。1973年に井上常正さんが社長に。以降、現代まで三多摩を中心に多店舗展開している有名な和菓子屋さんです。通信販売もやっていますのでぜひご利用を。編集部

★「新会長、監事様、就任御苦勞様です。コロナ禍の厳しい現況が続いていますが、体調に気をつけられ御活躍を祈り上げます」 清水官裕さん 昭和20年卒業(23期5組)

★「昭和20年10月戦争が終わって2か月後、田園家塾(一商生の精神修養のため使った施設)で1泊、集まったのが第1回クラス会、翌21年2月第1土曜日品川区北品川の商店街会館で第2回。そこで年1度2月第1土曜、校歌の“我が商士”の“士”を“土”として“会”と名付けました。年1度がやがて月1回と発展、会員高齢化に伴い解散することにしたがコロナのおかげで未だ会合できない状況です」 佐藤恒夫さん 昭和20年卒業(23期5組)

★「会報を頂き有難うございます。私は米澤正倫(23期)、兄・米澤平八郎(21期)、弟・米澤章(28期)、3人兄弟で都立一商に学びました。兄と弟は既に亡くなり、今年は兄の三回忌になりますので、故人の気持ちとして寄附をいたします。事務局の皆様のお仕事感謝しております」

米澤正倫さん 昭和23年卒業(25期5組)

★「ご盛会をお祈り申し上げます」

唐木 徹さん 昭和23年卒業(25期5組)

《男子多数時代(27期から40期)の皆さんから》

★「私たち29期は、終戦翌年、昭和21年に都立第一商業学校に入学、その後の学制改革で一商は高等学校となり私たちは一商付属中学生になりました。したがって6年間も一商で学ぶことができたが3年間を最下級生として過ごしました。当時、母校は焼け野原であり、猿樂小や代々木上原での間借り生活で授業を受けており、鉢山の木造の新校舎に移れた時の喜びは今もって忘れられません。時折、目にする現在の立派な校舎は夢のようであり、今の生徒さんは幸せだと羨ましく感じます。(中略)21期同期会は、4年に1度オリンピックの年に開催することにしていましたが、途中で2年に1度に変え、昨年の東京オリンピック年が第20回となる年度で、それを同期会最後の集会和予定していましたが、それがコロナ禍で不開催となり、残念ながらその前回の19回をもって21期同期会は活動を打ち切ることになりました。(中略)同窓会のご努力に感謝を申し上げ益々のご活躍を期待申し上げます」

(令和4年2月18日付けのお手紙から)

青木生夫さん 昭和27年卒業(29期代表幹事)

★「役員の皆様 御苦勞様です。コロナに負けずに頑張ってください。今後ともよろしく御願ひ申し上げます」

猪越淑夫さん 昭和28年卒業(30期C組)

★「はちやま57号メッセージコーナー拝見しました。先輩は18期から後輩は93期までまあ見事な同窓会愛に満ちた投稿でした。素晴らしいです。皆様も今後とも御健勝にお過ごしください」

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

小池勇雄さん 昭和28年卒業(30期C組)

★「同窓会役員及び事務局の皆様ご苦勞様です。頑張り過ぎないようにお願いします」

大塚隆夫さん 昭和28年卒業(30期C組)

★「浅野会長は引退されるのですか？ 福崎さんは事務局長を兼任されて会長をお引き受けなるのですか？ 大変なことだと思います、頑張ってくださいとは申しません。マイペースでおやりになることを期待しています。86号の皆さんのメッセージ懐かしく読ませて戴きました。お名前の知れた先輩、後輩の声、嬉しい一刻でした。同窓会事務局の皆さん、大変な時期です。体調くれぐれも気を付けて下さい。お元気で御活躍されることをお祈り致します」

大槻 實さん 昭和28年卒業(30期D組)

★「女子としては1期生です。400名中女子は48名位だったと思います。校歌祭は必ず出席しています。母校へ行くより近いようです。再開してほしいです」

高橋幸枝さん 昭和28年卒業(30期H組)

今年の校歌祭は11月3日を予定しています。イベント案内では実施前提にご案内します。状況悪化で中止もあり得ます。編集部

★「幹事諸兄 ご苦勞様です」

玉川隆正さん 昭和28年卒業(30期C組)

★「87歳、30期生。鉢山の校舎が木造で渋谷駅から徒歩で登校途中、当時の進駐軍の兵士と日本女性とのイカガワシイ交流のホテルがあったり、闇市場があったり、戦後の荒廃の中で日本人の行末に希望の見えてない高校生活でありました。70年後、このようなあの世に向かう直前にこのような世界的災害にほんろうされるとは。コロナ終末のあと生きていく後輩諸君の健闘を心から祈る。今度こそ良い日本を造ろう。家業は私が創業した飲食店が50年を迎えています、コロナに負けそうです」

高須治雄さん 昭和28年卒業(30期F組)

★「同窓会報のますますの発展をお祈り申し上げます」

飯泉善一郎さん 昭和29年卒業(31期C組)

★「人生百年時代!! 頑張りたいですね」

芹田義雄さん 昭和29年卒業(31期D組)

★「F組には卒業記念写真(一商S.29.31期卒、S28.10.10)に文化祭・運動会の仮装行列“葬送行進曲”生徒を商品として市場に出す学校を皮肉った発想・企画をした奴が級にいた。親が自営業と勤め人が1対1と思う。弁論大会ではレコード盤の録音機を見た。GHQからベーターベン第6、田園を借りにくる奴、コーヒー豆を持ち込み見せてくれる奴もいた」 小泉皖司さん 昭和29年卒業(31期F組)

★「現在、体調不良の為、会合に出席できません」

鈴木 信さん 昭和29年卒業(31期G組)

★「福崎事務局長様、会長就任後は難しい環境下、若い方の力を得て、未来に向けて会の運営をお願いします。健康にはくれぐれもご留意下さい」

木島邦彦さん 昭和30年卒業(32期B組)

★「今年1月に胃ガン、4月に大腸ガンの手術を受けましたが、現在は健常な身体に回復し、85歳の今もゴルフを続けています(コロナ禍で回数は激減していますが)。皆さん、いつまでもお元気で」

神蔵高史さん 昭和30年卒業(32期B組)

★「事務局の皆さん、いつも有難うございます」

早川寿一さん 昭和30年卒業(32期B組)

★「No.57はちやま会報の送付、有難うございました。私儀賞罰表彰①区議12年、②町会長45年、③東京都功労者表彰、④全国自治会連合会表彰、⑤総務大臣表彰(平9.11.29)、⑥叙勲・旭日単光章(令2.4.29)」

樋口幸雄さん 昭和30年卒業(32期C組)

★「2学年に富山から編入しました。当時はまだまだ戦後の貧しさが残っていました。日暮里から渋谷駅に毎日通学しました。安田先生の英語授業風景、京都の修学旅行は楽しかったです」

鈴木美智子さん 昭和30年卒業(32期D組)

★「皆さん 商業高校に自負を持ってがんばってください。男子生徒が少なくなってきましたのが残念です。これも時代の流れなのでしょう。一年先輩の飯泉善一郎様が一商俳句会をされており、私も一員にさせていただいています。卒業生で俳句をされておられる方がありましたら入会をおすすめします。一人でも多くは行ってもらいたいものです」

小林静司さん 昭和30年卒業(32期D組)

★「残暑お見舞い申し上げます。日々のお仕事、大変なことと思いますが、今後共よろしくお願い致します。皆々様のご健康お祈りいたします」

中林 茂さん 昭和30年卒業(32期E組)

★「コロナウイルス禍、終息が見えませんが。電車やバスの密が怖いので、昨年と今年、お彼岸とお盆の墓参りに行ってません。今年のお彼岸もパスです。今の事態をご先祖様も理解され許してくれるでしょう。私の家族には一商の後輩が2名います。妹が46期生で長男の妻が66期生です。私は、大先輩として大きな顔をしています。家族が集まった時は年齢に差があるので一商での共通の話題がなくて困ることや戸惑う事があります」

岸田 修さん 昭和30年卒業(32期E組)

★「幹事の皆様、ご苦勞様です。よろしくお願い申し上げます。福崎新会長、頑張りください」

吉埜 駿さん 昭和30年卒業(32期F組)

★「はちやまNo.57掲載の岸田 修さん記によるFMONSKY(フモンスキー)クラブで頑張っています」

山崎祐二さん 昭和30年卒業(32期C組)

★「このたび名乗り出て下さった6人の有志の皆さんが、福崎新会長と共にそれぞれの経験と賜物を活かし、一商同窓会のために尽力下さることを期待しております。同時多発の大災害のような勢いで、目に見えないウイルスが世界中で人の命と暮らしを脅かしています。一日も早い収束を祈り、あわせて皆さんの健康と平安をお祈りします」

澤田竹二郎さん 昭和30年卒業(32期H組)

★「はちやま57号、有難うございます。皆様方のご活躍に一商卒業生として感銘を受け、これからも頑張る気力が沸きます。私は、昭和31年卒33期3年F組です。残念乍らクラス会は、はちやま55号あたりより老衰の理由により自然消失しました。私も令和1年はS字状結腸ガン、令和2年は検診により胃ガンポリープ、令和3年は階段転げ落ちと

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

世の中の習い通りとなります。一商卒業後、税理士事務所の仕事が忙しく、簿記論合格と社会保険労務士資格だけです。現在も武蔵小杉近隣で老人性難聴により特別障害者2級で苦勞していますが、現役でがんばっています」

長岡肖朋さん 昭和31年卒業(33期F組)

★「定時総会議案書及はちやま57号。ご送付ありがとうございます。2年にわたるコロナ禍は様々な課題を与えています。直面するもの真摯に向き合い深く広く考えなければならぬと思います。しかし、情報の渦の中で静かに生き切ることがむずかしいものですね。同窓生皆様のパワーに触れられた紙面から、また、それなりの「何か」を手にしたいと思うばかりです」

小林文子さん 昭和31年卒業(33期G組)

★「ご苦勞様です」

蒔野吉夫さん 昭和32年卒業(34期B組)

★「早くコロナ禍が収まり級友との再会を待っています」

浦野季治さん 昭和32年卒業(34期C組)

★「お役目ご苦勞様です」

佐藤弘隆さん 昭和32年卒業(34期E組)

★「頑張ってください。よろしくお祈りします」

和田貞夫さん 昭和32年卒業(34期E組)

★「毎年「はちやま」をご送付いただき有難うございます」

鈴木 要さん 昭和33年卒業(35期A組)

★「コロナ禍という異常事態の中で同窓会運営にご苦勞され、心より御礼申し上げます。早く終息してほしいですね。ショートメッセージはとても良い企画と思います。誌上交流はすばらしいアイデアと思います。うれしく読ませていただきました。11頁の欄の「明治神宮」への先輩と先生の御霊に感謝の祈り…大賛成です。Good Idea。8頁右側、三木洋子さん33年卒35期A組となっていますが、A組は全員男子ですよ」

失礼しました。ご指摘の通り間違いです。三木洋子さんは37期のA組でした。編集部

★「きずな26-2号送信ありがとうございます。福岡会長ウェルカムミーティング出席、寒い中をお疲れ様でした。現在は、卒業生の人数も少なくなり、また、男性が少ない中で、卒業される皆さんが同窓会に対してどの様に考えておられるか分かりませんが、とにかくご案内いただきまして有難うございます。それから、大橋さん、いつまで

も大変お世話になりまして有難うございました」

(きずな26-2号の返信から)

堀 湛浩さん 昭和33年卒業(35期A組)

★「毎々はちやま ご送付くださりましてありがとうございます。旧友のご健在に嬉しく拝察しております。微々たるものですが、郵送費くらいにはなるかを振り込みました。皆々様のご健勝をお祈りいたします」

藤井京子さん 昭和33年卒業(35期F組)

★「会報誌ありがとうございます。会費納入状況を見ておりましたら、私の名前がありませんでした。払ったつもりだったのですが、忘れてしまったようです。ことしは必ず振り込みます。納入者名を見ておりましたらなつかしい名前が載っていました。同期会も2年間開かれず残念です。同期生約400名のうち、わずか30数名しか納入していないのもさみしいですね。会うことがあったら言っておきます」

遠藤 勇さん 昭和33年卒業(35期F組)

★「会報 いつもありがとうございます。若い時からの食生活がたたり10月位から透析せざるをえなくなりました。残念」

花輪 司さん 昭和33年卒業(35期F組)

★「返信が遅れて申し訳ありません」

綱取千代子さん 昭和33年卒業(35期F組)

★「幹事の皆様方、いつも有難うございます。楽しく懐かしく拝読しております。瑞々しかった時代が思い出されて何とも言えない気持ちになります」

佐藤安秀さん 昭和33年卒業(35期H組)

★「よろしくお祈り申し上げます」

篠島雄一さん 昭和33年卒業(35期組)

★「コロナ禍の中、事務局の方々にはご苦勞様であり、本当に感謝申し上げます。誌面、横書きが読みやすく良かったです。当面大変ですが頑張ってください。少額ですが協賛させていただきます」

加藤國貴さん 昭和34年卒業(36期E組)

★「会計報告ご苦勞様です。新会長、これからも宜敷くお祈りします。監事の方も引き続きお祈りいたします。体調も回復してきておりますので、引き続きよろしくお祈りいたします」

梶浦征治さん 昭和34年卒業(36期F組)

★「ご苦勞様です。頑張ってください。卒業以来、学校に足を踏み入れたことはありません。昨年、周迎を廻ってみましたが、あまりにも変わってしまい昔日のおもかげがあ

税理士法人 櫻井・田村事務所

代表社員 公認会計士・税理士 代表社員 公認会計士・税理士

櫻井 欣吾(39期) 田村 靖

代表社員 税理士 公認会計士試験合格者

月崎 匡人 植本 雅樹

〒182-0034 東京都調布市下石原3-65-33

TEL 042-486-0213

FAX 042-487-2968

e-mail info@sakurai-kaikei.info

お気軽にご相談ください

☆ 会社の設立から決算・申告等
法人に関する各種税務相談

☆ 所得税の確定申告等
個人に関する各種税務相談

☆ 相続税・贈与税のご相談

☆ 経営計画・経営分析等の経営相談

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

りませんでした」

小倉偉男さん 昭和34年卒業 (36期F組)

★「会報 ありがとうございます」

前田和子さん 昭和34年卒業 (36期E組)

★「<超短い自分史>S34年一商卒業、S38年W大学卒業、D(株)に就職。以来38年余り勤務し定年退職した。それ以降、色々の趣味と現役時代から準備した賃貸マンション投資・証券投資を厚生年金の足しにしながら過ごす。苦労はあったが言わば悠々自適の生活を送ることができた。その間2人の娘が結婚し、それぞれ男女1人ずつの孫が誕生、合計4人の孫に恵まれた。少子高齢化の時代にどうにか最低限の義務を果たしている。先月81歳を迎えて、身体の方はガタが来ているが、何とかメンテナンスをしながら、特に、運動、食事、休養に注意しつつ生活習慣病には気を付けています」

★「この度は、きずな26-2号をお送り頂きありがとうございます。また、「鉢山同窓会報も楽しく読ませて頂いています。定年退職してから暫くして同窓会に出席したいと思ったことがありましたが、住まいが遠方であり、また、知人がいない中を一人で参加するのも気が引け、クラス会の友人でも同行する仲間もなく諦めていたころです。しかし、たった3年間ではありましたが、青春の1ページを過ごした渋谷・鉢山は高齢になるにつれ懐かしく思い出されてきます。これからも一商同窓会の継続発展にご尽力のほどお願いいたします」
(きずな26-2号の返信から)

小川 洋さん 昭和34年卒業 (36期H組)

★「ご苦労さま。よろしく頼みます」

松本 實さん 昭和34年卒業 (36期H組)

★「コロナ禍で御苦労様です」

西岡定雄さん 昭和35年卒業 (37期A組)

★「浅野前会長、任期後半はコロナ禍で何かと難しい運営だったと推察致します。ありがとうございます。お疲れ様でした。後任の福崎さん、長い間、事務局長としての確かな実務力、とりまとめ役としての大任ありがとうございます。今後、引き続き牽引力に期待します。日本、世界に役立つ生徒の学びへの支援を同窓会の確かな役割として担おうではありませんか。定例行事消化型組織にならぬ様ご尽力ください」 小野捷司さん 昭和35年卒業 (37期A組)

★「今回も「ご案内」大変有難うございました。「会報」いつもなつかしく拝見しております。引き続き会の運営、よろしく願いいたします。東京を離れて永くなりますが、元気に頑張っております。皆さまによりしくお伝えください。草々」 永岡 彰さん 昭和35年卒業 (37期A組)

★「八十路に入りました。歳相応に生活しています」

中村正夫さん 昭和35年卒業 (37期B組)

★「同窓会のお仕事、大変だと思いますが頑張ってください。年会費他振り込んでおきました」

宇井健市さん 昭和35年卒業 (37期B組)

★「同窓会のご隆盛を心より祈念します」

新倉昭久さん 昭和35年卒業 (37期E組)

★「事務局の皆さんの努力に敬意を表します。スタッフの細島さんの退職は本当に残念です。有難うございました。

余談：かつての校外施設の追跡調査をしています。清明原の具体的位置と丹沢山荘へのかつての交通手段をご存知の方は教えてください」

秦 和夫さん 昭和35年卒業 (37期F組)

★「天下の一商。新体制での益々のご発展を祈ります」

村田泰八郎さん 昭和35年卒業 (37期H組)

★「会報の題字をお書きになった黒田先生の温厚な授業を思い出します。大島先生、近藤先生と共著の教科書は今も保存しています」

高塚 明さん 昭和35年卒業 (37期H組)

★「役員の活躍に御礼申し上げます。特に、高齢の方に頑張ってもらいたいという気持ちが充分にあります。新聞の縮刷版ができないか、熱望しています」

根岸 勝さん 昭和35年卒業 (37期H組)

★「なにかがあっても続けることです」

下田博臣さん 昭和35年卒業 (37期H組)

★「何かと役員さんのご苦労があると思います。今後も頑張ってください」

井田勝巳さん 昭和36年卒業 (38期E組)

★「大変お世話になっています。今後ともよろしく願います」

中野敏彦さん 昭和36年卒業 (38期G組)

★「加齢に伴う体力の衰えは歪めませんが、毎朝1時間のウォーキングで健康を維持しています。「病は気から」です。色々なことに手を出して、なるべく家に閉じこもらないよう努めています」 鈴木 清さん 昭和36年卒業 (38期H組)

★「拝啓 いつもいつも同窓会誌はちやま、楽しく愛を感じて拝読し、感謝しております。「月日は百代の過客にして遊子楽しむ」あれ！ちょっとお呼びでなかった。事務局さん、お役目ご苦労さまです。仕事はつらくても待っている人がたくさん居ますよ」

蟻坂 稔さん 昭和37年卒業 (39期E組)

★「同窓会事務局へ、会報楽しみにしています。全てに目を通しました。厳しい財政状況の下、ご苦労があらうかと存じますが、よろしく願います。櫻井公益財団一商奨学会理事長殿、理事長のおっしゃる通り、人材育成で有用な制度と思います。多々ご苦労があらうかと思いますが、制度の永続に向けご尽力下さい」

大橋正昭さん 昭和37年卒業 (39期C組)

★「常日頃は母校一商の為、同窓会の為、ご尽力頂き有難うございます。コロナはまだ収まりませんが健康に留意して益々ご活躍されますようお祈りしております。頑張ってください」 中澤捷雄さん 昭和37年卒業 (39期E組)

★「喜寿を過ぎた近頃は、昨日と同じ今日を過ごし、今日と同じ明日が来ることを願うばかりです。そして、身近にいる大切な人と一日でも長く暮らしていければ、それが何よりも何よりも大事と思うばかりです」

伊藤嘉規さん 昭和37年卒業 (39期E組)

★「いつも同窓会会報を送って頂きありがとうございます。なつかしく拝見しております」

小林成子さん 昭和38年卒業 (40期C組)

★「健康維持に、早朝ウォーキングを楽しんでいます。役

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

員の皆さまにはお世話になり有難うございます」

堀切(中村)千代子さん 昭和38年卒業(40期C組)

★「私、現在、療養中で何もお手伝いできませんが、お世話になりますことを感謝申し上げます。どうぞ皆さま健康に留意されご活躍下さいませようお願い申し上げます」

平井昭子さん 昭和38年卒業(40期F組)

★「会報57号のメッセージ欄に、私の心底にある想い出の人の名。しっかりと暮しの由で感動しました。これからの私の励みになります」

清水延芳さん 昭和38年卒業(40期G組)

★「福崎さんへ 新会長ご苦労さまです。体調に気を付けて頑張ってください」

川村 進さん 昭和38年卒業(40期G組)

★「福崎様 いつも一生懸命、一商OBのため、数研OBのため、有難う。感謝しています」

笠倉俊夫さん 昭和38年卒業(40期組)

◀昭和・女子多数時代(41期から66期)の皆さんから▶

★「はちやま57号有難うございました。いつも楽しみにしています。同窓会の幹事の皆さまに感謝申し上げます」

佐藤榮美子さん 昭和39年卒業(41期A組)

★「立派な同窓会、私の心のはげみになっております」

仲井間敦子さん 昭和39年卒業(41期A組)

★「お世話になっています。同期の福崎さん、これからも頑張ってください」

諏訪繁子さん 昭和39年卒業(41期E組)

★「創立百周年特集や「はちやま」57号を読ませていただき嬉しく思っております。渋谷に位置する伝統ある学校で学べたことに感謝しております。諸先生、諸先輩の方々の努力が一商同窓会として継続されていきますようお祈り申し上げます」

伊那(矢田)宏子さん 昭和39年卒業(41期A組)

★「コロナの関係で公の会も私的な会も全員を集めての会合はできませんので役員は苦労しています。一商の同窓会の継続のため、新規役員で同窓生を引っ張ってください。出来るだけの協力はします」

山本 剛さん 昭和39年卒業(41期B組)

★「同期の福崎氏の会長に賛成します。ぜひ引き受けてください」

小泉英子さん 昭和39年卒業(41期C組)

★「新役員の皆様、この多難な時期にお引き受けいただきありがとうございます。同窓会発展のためよろしくお願いたします」

秋元幸雄さん 昭和39年卒業(41期C組)

★「守谷市の市議会議員3期目となりました。頑張っています。会長候補者福崎達哉君、同期の桜が会長になる！嬉しい。コロナ禍が過ぎたら同窓会へ行きたいです。よろしくお願致します」

山田美枝子さん 昭和39年卒業(41期E組)

★「福崎さんの会長、賛成です。同一クラスとして応援しています。頑張ってください」

山本良治さん 昭和39年卒業(41期E組)

★「役員の皆様、いつもご苦労様です」

福地生治さん 昭和39年卒業(41期E組)

★「大変な時期にご苦労様です。今後ともよろしくお願いたします」

磯部宏次さん 昭和39年卒業(41期H組)

★「福崎さん、いつも大変お世話になっています。どうぞご健康に留意されてご活動ください」

飯山清一さん 昭和39年卒業(41期H組)

★「ご苦労様です。当方は、昨年コロナの影響をまともに受け41年半続けた事業(ライブハウス「ジャズスポットJ」)の幕を閉じました。鉢山会の皆さま、大丈夫ですか…。これまでに経験したことの無い状況に打ちのめされないよう頑張ってください!!」

幸田 稔さん 昭和39年卒業(41期H組)

新宿の名店・ライブハウス「ジャズスポットJ」閉店の由、たいへん残念です。幸田さん41年という長い間ご苦労さまでした。編集部

★「月に数日、横浜にアルバイトに行くほかは、毎日、読書と音楽に明け暮れております。音楽は自己流でピアノを少し、でも体力の衰えて時間が短くなりつつあります。年に1回の同期会もコロナで中止となり残念です。現在76歳。あと10年位は頑張ろうと思っています」

柏木捷之さん 昭和39年卒業(41期H組)

★「コロナで不安な毎日です。皆様も罹ることなく終わることを祈っています」

牟田元子さん 昭和40年卒業(42期B組)

★「今年10月にて後期高齢者、健壽です」

猪狩正雄さん 昭和40年卒業(42期C組)

★「3年生の思い出(1964年東京オリンピック)国立競技場でオリンピックのリハーサルに。一商生も駆り出され、各国選手の代役になりました。開会式から閉会式まで見るという機会がありました。一週間後の10月10日、学校帰りにブルーインパルスの「五色の輪」は今でも鮮明に記憶しています」

笠原芳枝さん 昭和40年卒業(42期E組)

★「いつも楽しみに会報を待っています。ご苦労様です。住所を変更しましたので連絡します」

小岩敏之さん 昭和40年卒業(42期F組)

★「会報No57、送付くださり有難うございます。毎号、嬉しく読ませて頂き、楽しかった高校生活を思い出しております。コロナが早く終息して、又、皆さまとお会いして笑顔でお話をしたいです。放課後のフォークダンスの事等、楽しい思い出が一杯です。素晴らしい学校でした。役員の方々に心より感謝しております」

綾部(小林)博子さん 昭和40年卒業(42期F組)

★「会報を見ると楽しかった一商時代を思い出します」

坂本義昭さん 昭和40年卒業(42期F組)

★「以前、監事をやっていました。4月で75歳になります。公認会計士業を今もやっています」

丹羽弘己さん 昭和40年卒業(42期H組)

★「いつもお世話、ご苦労をかけております。同期の方の会報のお名前が少なくなって来て、見るたびに少々さみしく思っています。何時か一商で、校舎で同窓会ができることを心待ちしております」

飯田節子さん 昭和41年卒業(43期F組)

★「コロナ禍で自宅で、三好徹先輩や森田誠吾先輩の作品を拝読しています」

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

早田喜久男さん 昭和41年卒業(43期G組)

★「いつもいつもお世話になります。同窓会の運営に携わる皆さまにお礼申し上げます。大変にありがとうございます。また会える日を楽しみにしています」

金井邦彦さん 昭和41年卒業(43期H組)

★「コロナ禍がまだまだ続きそうで、ほとんどの行事が中止で残念ですね。“誌上総会”など新しい方法での運営、いろいろ大変ですが、よろしく願います。校歌祭などでの再会を楽しみにしております」

澤野興志子さん 昭和41年卒業(43期B組)

★「お世話になっておりますが、宜しく願ひ致します」

落合春代さん 昭和41年卒業(43期E組)

★「役員の皆様、ありがとうございます。コロナ禍でほとんどのイベント等、延期、中止です。一日でも早く、少しでも自由に動ける日が来ます様、常に祈っております。そして、又、同窓会、クラス会が開催されることを願って止みません」

高木美保子さん 昭和42年卒業(44期E組)

★「コロナウィルス感染拡大でいろいろ大変ですね。みんなに迷惑がかからないよう気を付けています」

伊藤美紀子さん 昭和42年卒業(44期F組)

★「役員の皆様、ありがとうございます」

嵯峨和子さん 昭和43年卒業(45期A組)

★「旧役員の皆様、大へんお疲れ様でした。お世話になりました。新役員の皆様、よろしく願ひいたします。コロナが終息し、同窓会各種行事が再開できるようになりましたら、できる限り行事に参加したいと思っております」

早川 守さん 昭和43年卒業(45期B組)

★「よろしく願ひいたします」

伊藤雪子さん 昭和43年卒業(45期B組)

★「役員、事務局の皆様、いつもご尽力いただきありがとうございます。特に、コロナ禍の中、大変なご苦勞と存じます。一日も早く、又、安心して楽しく諸行事に参加できる日が来ることを祈っております」

太田道夫さん 昭和43年卒業(45期G組)

★「いつも会報送付ありがとうございます。会報のメッセージで旧友の名前を見るとなつかしく嬉しいです。皆さま、まだまだ元気に頑張りましょう」

黒田俊一さん 昭和43年卒業(45期C組)

★「コロナ禍ですので、皆様、感染しないように活動して下さい」

安藤幸子さん 昭和44年卒業(46期A組)

★「役員の方々、ご苦勞様です。そして、こうしていまだに同窓会報を送られてくるしあわせに感謝です。ありがとうございます。人生を振り返り高校時代は私自身“迷走する我”で、今思うと恥ずかしいことばかり…。でも、誰一人として私を批判したり、まして、“イジメられたり”することなく、仲間内と認められる扱いでした。ステキな出会いばかりでした。感謝のみ」

藤井(小林)節さん 昭和44年卒業(46期A組)

このメッセージを読んで、森田公一とトップギャランが歌う「青春時代」の歌詞に“青春時代は夢なんて あとからほのぼの思うもの 青春時代の真ん中は 道に迷っているばかり”ってあるけど、ほんとなんだなと思いました。編集部

★「盛会を祈念申し上げます」

丸山廣光さん 昭和44年卒業(46期D組)

★「引越しご苦勞様です。山崎さんがいなくなつて、事務所に向うこともあまりなくなりましたが、コロナが下火になった頃には落ち着いておられるでしょう。ぜひ一度伺つてみたいと思います。今度は駅に近くなるのですね」

石橋えり子さん 昭和44年卒業(46期D組)

★「こんにちは。いつも同窓会にご尽力下さりありがとうございます。先日、この葉書が見つからずメールにて賛否を連絡しましたが、ようやく発見できましたのでお送りさせていただきます。体調も回復しましたので何かお手伝いできることがあればご連絡ください。(週1回程度です)」

犬飼正行さん 昭和44年卒業(46期F組)

ありがとうございます。その節はよろしく願ひいたします。編集部

★「渋谷から鉢山、そして、都立一商から上目黒へと元気なうちに歩いてみたいと思っています(札幌より)」

藤原正志さん 昭和44年卒業(46期G組)

★「事務局の皆様、いつも会報をお送りいただきありがとうございます。私も卒業から50年も過ぎ、今では70歳となり前期高齢者の仲間入りになりました。次の目標は後期高齢者になり、その次は80歳を目指そうと思っています。年金でお世話になっていますが、楽しく生活したいと思っています」

岩田敏雄さん 昭和44年卒業(46期H組)

★「忙しい中、同窓会存続のため、日々奉仕ご苦勞様です。いろいろなご意見もございましょうが、誰かが奉仕の心で幹部の仕事をしなければ同窓会そのものの継続が危ぶまれることとなります。本当に頭が下がる思いです。今後でもできる範囲でご協力させていただきます」

太田守洋さん 昭和45年卒業(47期C組)

★「いつも大変お世話になっております。今後ともよろしく願ひ申し上げます。コロナの収束を心から願ひ祈り、会員の皆様、どうぞくれぐれもご自愛下さいませ」

土屋真澄さん 昭和45年卒業(47期D組)

★「会報を送付いただきありがとうございます」

石野道雄さん 昭和45年卒業(47期D組)

★「いつもお世話になっております。有難うございます。暑さ厳しい折、皆様ご自愛ください」

高橋久仁江さん 昭和46年卒業(48期B組)

★「はちやま57号 ありがとうございます。懐かしく高校時代を思い出しながら拝読させていただきました。役員の皆様には心からの感謝を申し上げます」

梶 朱美さん 昭和47年卒業(49期B組)

★「いつもありがとうございます。やっと定型封筒になりましたね。ほっとしています」

松崎恭子さん 昭和48年卒業(50期A組)

★「いつもお世話になり、ありがとうございます。コロナ、天変地異etcに負けず…幸多かれと祈っています」

中澤美智子さん 昭和48年卒業(50期G組)

★「前略 お世話になります。以前、福崎様より同窓会運営へのお誘いをいただいた山崎です。現在、私は就業中で土曜日は時間的に無理がございまして、当面、参加することができません。申し訳ありません。尚、来年には以前お

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

話した51期同期会もぜひ開催したいと思っております。よろしくお願ひいたします」

山崎 昇さん 昭和49年卒業 (51期A組)

ステキな同期会にしてくださいね。母校の見学をご希望なら7月23日(土)がワンチャンスですよ。編集部

★「いつもお世話になりましたありがとうございます。コロナが落ち着いたらまた同窓会で皆さんとお会いできるのを楽しみにしています」

桐山幸子さん 昭和49年卒業 (51期E組)

★「1度だけ会費を払っただけで、毎年、会報を送付いただきありがとうございます。57号を読んで同期生の名や先パイの名をみて懐かしく思いました。現在、透析をしているので手伝うことは無理かもしれませんが、よろしくお願ひします」

馬場勝久さん 昭和50年卒業 (52期E組)

ご遠慮なさらず毎年お支払いいただければ、すごく嬉しいのですがいかがでしょう(^^)/編集部

★「博多にお越しの時はご一報ください。ご案内します。“あうんグループ”で検索してください」

別府治彦さん 昭和52年卒業 (54期E組)

ありがとうございます。博多に行く機会がありましたら、ぜひお目にかかりたく思います。その時はいつ来るのでしょうか。ビールが沢山飲めるうちに行けるといいのですが。事務局

★「いつもありがとうございます。卒業後、会計とは程遠い会社に入社。経理を1年経験後、海外部へ…結婚、出産を経て、現在、税理士法人にてパートをしています。回り回って「仕訳って楽しいなあ…」と思う今日この頃です」

上田佐智子さん 昭和55年卒業 (57期F組)

素晴らしい!! 仕訳というか簿記は、社会に出てその有難みがわかるようですね。一商という学校の良さも一緒に、執行部の中にもそのような感想を持っているひとでも大勢(2~3人)います。編集部

★「送付書類をありがとうございます」

平岡晴美さん 昭和58年卒業 (60期C組)

60期の皆様へ

皆さんは3年後に60歳「還暦」を迎える、ということで一部の方が「還暦祝賀同期会」の開催を計画されています。卒業して40年余り、音信不通の方も多くおられることから、幹事さんがそれらの方々の所在をご存知の方に情報提供を求めています。それらの方々の名簿を別添していますので、ご存知の方は、一商同窓会ホームページからメールで事務局宛にご連絡をお願いします。

★「はちやま57号、メッセージ掲載ありがとうございます。今回、気付いたことがありまして…「題字:黒田先生」と表紙上部に記されているではないですか!!!黒田先生が一商に信任された年に私はお世話になり、黒田先生に連れられて青学の文化祭にお邪魔したり、当時、一商にはなかった軽音楽同好会発足にあたり顧問を引き受けてくださったのです」

水口浩一さん 昭和59年卒業 (61期E組)

題字を書かれた黒田(保)先生は1924年から1968年まで国語担当で、水口さんが思っている方ではありません。あなたのおっしゃる黒田(克

弘)先生は英語の先生として1981年から1960まで在勤された方ですよ。編集部

★「母校の益々の発展を願っています」

田向茂男さん 昭和59年卒業 (61期E組)

≪平成時代(67期から98期)の皆さんから≫

★「久しぶりに実家に帰り、定期的に会報にてお知らせ頂いていた事に驚きました。現在息子も一商に楽しく通学しています。オンライン授業となりかなりIT化しています。コロナで一商祭などのイベントが中止になり残念ですが、とても良い学校です。今後ともよろしくお願ひ致します」

石橋(椎葉)洋子さん 平成7年卒業 (72期C組)

★「皆様、コロナや残暑の厳しい中、益々のご発展、お喜び申し上げます。日々一日一日を大切にしたいですね。どうぞお身体をご自愛ください。一日も早く、元の生活が送れるような世界になりますように」

梅田(吉田)由美子さん 平成14年卒業 (79期C組)

★「いつも「はちやま」の発行等、ありがとうございます」

阿部早久来さん 平成21年卒業 (82期E組)

★「ご無沙汰しております。2019年から疾病騒ぎが続いておりましたが、今年はワクチンについて色々な議論が起きているですね。何時になったら安心の世の中になるのでしょうか。皆様にもどうかご自愛していただきたいです。追伸、学生時代の唯一の友人と連絡が途絶えてしまいました。もし、この会報を読みましたらご連絡ください。とても心配しています」

小林智也さん 平成27年卒業 (92期C組)

★「いつもお世話になりましたありがとうございます。卒業しても一商とのつながりをもっていたいと思い連絡させて頂きました。今後共よろしくお願ひいたします」

玉木紳一朗さん 平成30年卒業 (95期C組)

★「はちやま57号、送付ありがとうございます。コロナ禍で大学4年も後期に入りました。渋谷という立地で歴史の長い第一商業に在籍していたことをなつかしく思い出しました」

松山 葵さん 平成30年卒業 (95期E組)

税理士
行政書士

山本剛事務所

所長 山本 剛(41期)

東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
三菱ビル9階 957区-B 〒100-0005
電話 (03)3284-1941(代)
FAX (03)3214-3520

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

都立一商同窓会会員の皆さまへ、 お礼とご挨拶

公益財団法人一商奨学会 理事長 櫻井 欣吾

平素は、当奨学会事業へのご支援、ご協力賜り誠にありがたく深く感謝申し上げます。

一商同窓会報58号の誌面をお借りして、皆さまからの当奨学会へのご寄附のお礼と昨年度の事業報告の概要と併せて本年度のご寄附のお願いをさせていただきます。

<令和3年度 事業報告の概略>

昨年度は、一昨年に引き続きコロナ禍により、各学年ともに年間通して正常な授業を受けられなかった影響で、育英奨学生(人数27名、奨学金8万円)の募集は、第2学期末試験後の11月に実施しました。その応募者数は例年を倍近

く46名(全学年)となりました。それはコロナ禍により生徒の家庭の経済が窮乏化し、生徒の学習環境が悪化(アルバイトなどに時間をとられる)したことから、救済を奨学金に求めてきたことが大きな原因のひとつと推測しています。

選考委員会では、奨学金を必要とする応募者の増加はコロナ禍により生じ、学業継続のために必要な奨学金が求められていると判断し、本年度に限り特例として、提出書類不備で失格とされた3名を除く43名に奨学金一人当たり6万円を給付しました。

また、短期海外留学事業は留学予定先の英国を含めコロナ禍の収束がなかったため一昨年に続き中止しました。なお、令和4年度は実施する計画としています。

<令和3年度 受領寄附金のご報告>

寄附金総額 2,734,400円(令和2年度 1,630,200円)
ご寄附者数 154名(令和2年度 148名)

令和3年度 ご寄附いただいた皆様のご尊名 (敬称略)

(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

卒期	お名前	卒期	お名前	卒期	お名前	卒期	お名前	卒期	お名前	卒期	お名前	卒期	お名前
24	岩田 卓三	32	小林 通昭	34	佐藤 弘隆	36	八代 康子	39	森田 舞子	42	綾部 博子	46	宮田 次郎
24	杉浦 信夫	32	澤田竹二郎	34	鈴木 明	37	上杉 光子	39	山口 善久	42	小森眞智子	46	山岸 英斗
25	岡本 四郎	32	篠田 数夫	34	松野 正義	37	奥屋壮太郎	39	米岡 邦明	42	林 幹夫	46	山崎 松夫
25	唐木 徹	32	鈴木 隆久	35	牛澤 功	37	小野 捷司	39	渡部 範子	42	牟田 元子	46	渡部 裕
27	林 幸雄	32	鈴木美智子	35	大橋 佳夫	37	小林 克実	40	笠倉 俊夫	42	吉岡 盛雄	47	飯塚 昇
28	清水章三郎	32	吉野 駿	35	小泉 幸子	37	田島 嗣也	40	笠原 謹彌	43	岩橋 四郎	47	宮崎 末子
29	浦野 稔雄	33	浅川 正	35	柴田 英雄	37	中村 正夫	40	川名 順子	43	金子富喜雄	48	佐藤 敬司
29	瀧川俊一郎	33	有坂 義隆	35	中島 芳明	37	秦 和夫	40	白鳥美枝子	43	桜井 汎	50	中澤美智子
29	堀ノ内史旺	33	宇田川一浩	35	橋上 孝道	37	平川 剛司	40	森下 正豊	43	根岸 良久	52	馬場 勝久
30	植田 和幸	33	木内 秀明	35	長谷川紀子	37	平野 栄子	40	森本 勝治	44	飯塚 庫雄	52	渡邊 琢
30	内田 嘉一	33	木村 修一	35	堀 湛浩	38	五十嵐洋二	40	渡邊 和男	44	上杉 恭子	57	上田 智子
30	大塚 隆夫	33	工藤怡三代	36	飯塚 恭子	38	井口 正敏	41	円城寺和佳子	44	大橋日出夫	59	森 貴代子
30	高須 治雄	33	高橋 幸枝	36	石井 信明	38	奥村 修	41	佐藤榮美子	44	角 静二	68	茨田美智子
30	長尾 正善	33	田中 義之	36	石井 宏佳	38	波多野博正	41	島崎 恵子	44	島崎 光順	92	四戸 里菜
30	早川 茂	33	樋口 正三	36	小倉 偉男	38	山田 泰子	41	鈴木 清春	44	鈴木 正男	94	沖田あゆみ
30	藤田 靖	33	茂木 栄三	36	小栗 昭一	39	蟻坂 稔	41	諏訪 繁子	44	高部由美子	94	沖田いづみ
30	藤吉 邦通	33	矢野 武	36	梶浦 征治	39	井上 七郎	41	匿名	45	粕谷 幸男	95	檜森 亮志
31	飯泉善一郎	33	根津 光治	36	加藤 國貴	39	井上まり子	41	仲井間敦子	45	本田 常道	97	諸岡 恵実
31	寺沢 房子	34	雨宮 康夫	36	島津 宏一	39	大庭 浩司	41	平林 勤	45	松村知佐子		
32	浅間 良市	34	岩田 克夫	36	高木 健吉	39	大橋 正昭	41	福崎 達哉	46	芦澤 光二		
32	木島 邦彦	34	浦野 季治	36	土江 章	39	(故)北山正勝	41	福地 生治	46	阿倍 雄次		
32	小林 静司	34	桑原まさ子	36	沼田 捷一	39	櫻井 欣吾	41	山本 剛	46	岩田 俊雄		

母校で学んだこと
先生、先輩、友人との出会いに感謝!

公認会計士 **飯 塚 昇**

第47期生(昭和45年3月卒業)

〒169-0074 新宿区北新宿4-19-15 正和ハイツ

石のことならお任せください

東京都公園協会 石材特約店

(有)大成石材工業

代表取締役 **太 田 守 洋**(47期)

本 社 〒175-0083 東京都板橋区徳丸6-44-7
TEL 03-5945-3401 FAX 03-5945-3403

営業所 〒359-0027 埼玉県所沢市松郷234
TEL 04-2944-4808 FAX 04-2945-7190

E-mail : info@taisei-sekizai.co.jp
http://taisei-sekizai.co.jp/

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>



＜終業式より長い表彰式！＞

今年(令3)の終業式は比較的短時間で終わりましたが、今日はその後の表彰式の方がずっと長かったですね。何しろ簿記部、珠算・電卓部、ワープロ、ビジネスアイデア、写真部、男子バスケットボール部、ソフトテニス部に税の標語の入選者まで、何十人もの生徒の表彰が目白押しでしたから。後にも先にも表彰を受ける生徒の列が体育館の前から後ろまで伸びているのを見たのは初めてでした。

このコロナ禍でも生徒の皆さんは一生懸命頑張っているんだなあという事が実感された表彰式でした。改めて受賞された皆さん本当におめでとうございました。(一商ブログより一部抜粋)

＜令和3年度公認会計士試験に合格＞

…蛇石蓮音(へびいしれおん)さん96期(平成31年卒)

蛇石さんは進学クラス(今の特選クラス)に所属し、2年の6月に日商簿記2級合格、以降日商簿記1級の学習を続けてきました。3年の時に全商会計実務検定(財務会計・財務諸表分析)に合格しています。

卒業後は東京IT会計専門学校杉並校に進学。卒業してすぐの6月に全商簿記上級に合格し、その後は公認会計士試験の対策に専念してきました。短答式では2度不合格となりましたが、3回目の挑戦で令和3年公認会計士試験の短答式・論文式試験に合格することができました。改めて

蛇石さん合格おめでとうございます。

蛇石さんから一商の後輩へのアドバイス「学校で受けている商業科目以外の授業も大切にして欲しいということですね。公認会計士試験は論理的な思考力が大切ですから。」

＜全商全種目1級合格(9冠)達成!(なんと今年度2人目!)＞

11月25日の珠算電卓検定の合格発表をもって、3年A組の長谷川葵さんが全商協会主催検定全種目1級合格を達成しました。先日の小松さんに続いて今年度2人目の達成となります。全国的に見ても同じ学校から2人の達成者が出るのは珍しく、快挙が続いています。

担任からのコメント「入学してから計画的に学習を続け、無事に9冠を達成することができました。初めから9冠を意識していたわけではなく、一度不合格になった検定もあり、順風満帆な道のりではありませんでしたが、最後まで良く頑張りました。時間単位で学習計画を立てることができ、計画性や、どんなことにも挑戦しようとする姿勢には感心させられます。後輩にもぜひ後に続いてもらいたいと思います。9冠達成、本当におめでとう！」

長谷川さんのコメント「全商9種目合格でき、とても嬉しく思います。1年生の頃から早めに検定に挑戦してきて良かったと感じました。各種検定が続き同時並行して学習する必要がある時や、不合格により再チャレンジする際には、心が折れそうなことも多々ありました。さらに3年生になって他の主催検定などもあり、最初で最後の挑戦となってしまった検定は特に大きなプレッシャーを感じました。そんな私を応援し支えてくださった先生方、友達、家族にも本当に感謝しています。ありがとうございました!商業高校で習得できたことを活かしつつ、これからも努力していきたいと思っています。」(一商ブログより一部抜粋)

鉢山俳句会 報告

平成24年6月発足の鉢山俳句会は、今年が節目の満十年を迎えます。定例会は、奇数月の第一月曜日の午後と同窓会事務所で開催してきましたが、一昨年よりコロナ禍のため対面句会を避け、紙上句会で対応してきました。会員は十名が在籍しております。今年五月の紙上句会に出句された九名について一句ずつご披露させていただきます。(飯泉善一郎)

胸を張り校門くぐる新入生	中澤捷雄	39期
一夜にて庭満たしけり花盛り	小林静司	32期
ネクタイを離れ幾年更衣	垂井道夫	28期
瀬戸内の碧き海原風光る	福崎達哉	41期
待ちわびた今年も探す路の藁	白井健介	32期
風光る自転車連らね土手の道	平野栄子	37期
野仏の揺れる前掛け花曇り	勝部 誠	46期
いつになるマスクなしの日更衣	山崎松夫	46期
たんばばや石蹴りながら下校の子	飯泉善一郎	31期

入会ご希望の方は、同窓会事務局または左記にご連絡ください。

垂井 道夫(電話) 03-3726-3169
 平野 栄子(電話) 03-3383-0433
 飯泉善一郎(電話) 03-3707-5586

(順不同・敬称略)

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● 都立一商同窓会 <http://www.issou.jp/> 検索

令和3年度賛助会費及び年会費報告 令和4年4月末日現在

賛助会費納入状況 納入者数 277名(前年 201名)

合計 2,175,200円(前年 1,729,723円)

年会費納入状況 納入者数 516名(前年 464名)

合計 1,238,400円(前年 1,149,600円)

個人情報保護の観点から詳細は会報をご参照ください。

令和3年度 都立一商同窓会 会計報告

●収支計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日) (単位：円)

収入の部	当年度	前年度	増減
年会費収入	1,238,400	1,149,600	88,800
賛助会費収入	2,175,200	1,729,723	445,477
その他会費収入	0	0	0
広告料収入	144,000	154,000	△10,000
事務所使用料	300,000	300,000	0
先払年会費	1,716,000	1,848,000	△132,000
受取利息	93	379	△286
雑収入	530,000	956	529,044
当年度収入合計	6,103,693	5,182,658	921,035

支出の部	当年度	前年度	増減
会報制作費	897,050	754,600	142,450
会報発送費	1,150,713	1,146,940	3,773
総会費	0	0	0
親睦費・諸行事	181,500	0	181,500
諸行事協賛金	0	0	0
事務費	154,700	98,531	56,169
リース料	595,660	594,864	796
交通費	77,016	65,632	11,384
会議費	13,170	0	13,170
通信費	167,295	121,946	45,349
消耗品費	397,592	206,788	190,804
振込手数料	115,589	104,730	10,859
家賃	2,562,800	1,834,800	728,000
水道光熱費	88,146	84,701	3,445
生徒募集費支援	42,380	107,800	△65,420
就職対策費支援	15,000	182,828	△167,828
部活動奨励費	173,806	461,000	△287,194
資格取得奨励費	0	164,780	△164,780
雑費	144,411	125,260	19,151
当年度支出合計	6,776,828	6,055,200	721,628
当年度収支差額	△673,135	△872,542	199,407
正味財産期首残高	13,907,923	14,780,465	△872,542
正味財産期末残高	13,234,788	13,907,923	△673,135

●貸借対照表 (令和4年3月31日現在) (単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	60,354	38,130	22,224
普通預金三菱渋谷	1,931,561	2,663,204	△731,643
郵便振替	4,235,565	4,286,497	△50,932
普通預金ゆうちょ	672,952	1,015,405	△342,453
定期預金三菱渋谷	4,076,756	4,076,687	69
定期預金ゆうちょ	1,000,000	1,000,000	0
未収入金	451,200	0	451,200
流動資産合計	12,428,388	13,079,923	△651,535
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他の固定資産			
差入保証金	300,000	828,000	
その他の固定資産合計	300,000	828,000	△528,000
固定資産合計	300,000	828,000	△528,000
資産合計	12,728,388	13,907,923	△1,179,535
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	21,600	0	21,600
未払金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	21,600	0	21,600
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	21,600	0	21,600
III 正味財産の部			
1 基金	300,000	828,000	△528,000
2 次年度繰越収支差額	12,406,788	13,079,923	△673,135
正味財産合計	12,706,788	13,907,923	△1,201,135
負債及び正味財産合計	12,728,388	13,907,923	△1,179,535

監査報告書

監査の結果、東京都立第一商業高等学校同窓会の令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)の会務は本会会則に従って執行されており、収支計算書及び同年度末の貸借対照表は適正に作成されているものと認めます。

令和4年5月23日

東京都立第一商業高等学校同窓会

監事 粕谷 幸男 ㊞

監事 飯塚 昇 ㊞

鉢山俳句会

新しい方の入会をお待ちしております。

設立：平成24年6月

行事：句会…年6回(奇数月 第1月曜日 13時30分～16時) 3句出句、同窓会事務所で開催

(注) 現在はコロナ禍のため通信による紙上句会

会費：ナシ

会員：10名

連絡先：垂井道夫(28期) 電話 03(3726)3169 平野栄子(37期) 電話 03(3383)0433

飯泉善一郎(31期) 電話 03(3707)5586

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/>

多種多様な“集い”あなたの参加を待っています

全世界を揺るがし、恐れおののいて過ごしてきたコロナ禍での生活も、ようやく抜け出て普通に帰れるようになったようです。この間、花見での宴会禁止、三密厳禁、マスク必着用…なんとも鬱陶しい時代でした。思えば、そんな鬱陶しい時期があったからこそ、街に出てしばらく会えなかったと友達と会ったり、会食したりすることができる嬉しさと楽しさが倍増するのかもしれない。

そこで、今年、同窓会では皆さんに、たった一人でも、何人かのグループでも、肩を張らず、気楽に参加していただけるいくつかの“集い”を計画しました。その“集い”に参加してみようかな、と、少しでも思われたら、ぜひ同封されている「連絡はがき」を使って申し込んでください。

今年は従来とは異なり、旅行会社が企画するツアーのように、私たちの提案した“集い”に皆さんからの申し込みが一定人数(催行人数)あった場合に実施するという形をとることにします。その人数の基準は10名とします。最小10名の同好の士がいれば、その“集い”は成立し、本部役員は手を尽くして、お集まりいただいた皆さん全員が楽しめるようお世話をさせていただきます。なにしろ、同窓会はサービス業だと宣言してしまったようなものですからね。

No1 令和4年度 一商同窓会定時総会

- 日時 7月23日(土) 15時～16時(予定) 受付開始13時～
 - 会場 母校(都立一商)
 - 議題 ①令和3年度決算報告、令和4年度予算、活動計画の審議
②同窓会会則改定案の審議
③同窓会事務所移転報告
- 当日、校内見学を希望される方は13時30分までに受付にお越しください。
- 終了後、別会場での懇親会を予定しています。ご参加いただける方は受付時に会費をお支払いください。
- 出・欠のご返事は同封の「連絡はがき」で、7月15日までに事務局着となるようご投函ください。

No2 今年(令和4年)「一商祭」が復活(の予定)

- 日時 9月23日(金…秋分の日)
生徒その家族で招待券をお持ちの方
9月24日(土) 同窓会員他一般参観日
 - 場所 母校(都立一商)
- 同窓会も在校生と同様に教室をお借りして一商の歴史などの企画展を行います。
- 同窓生の方は、玄関受付で「同窓生」と言っておくと入場できます。

No3 在校生部活動の応援団を募集します

「青春は部活と共にある」授業中は寝ていても、午後になり、いざ部活・練習となると気合が入る。汗まみれ、泥まみれの練習、そして、晴れの対抗戦。勝てば笑顔、負ければ涙目。そんな、先輩たちの試合を、彼らの力戦を、みんなで応援に行きませんか。

○令和4年の都総体は6月中で終了します。

○そのため、実際の応援は、秋に開催される大会からとなります。

○応援団参加の申し込みをいただいた方には、秋以降の母校チームの試合スケジュールが決定次第、メールなどで詳細をご連絡し、参加を募らせていただきます。

○「連絡はがき」に参加とご記入の上、事務局までご送付ください。

No4 映画、星空、美術

渋谷文化の香りを楽しむ集い(渋谷会しづこうかい)・参加者募集中

映画館10、プラネタリウム1、美術館等85、渋谷にある文化の香り発信地。そこでの企画展は見どころいっぱい・楽しいいっぱい。同窓会の担当者が選び抜いた「渋谷文化の香りを楽しむ集い」(渋谷会)に参加しませんか。

- 渋谷会は、2カ月に一度程度開催する映画、星空、美術その他の鑑賞会です。鑑賞後はその感想を話し合う茶会を行います。
- 渋谷会に参加登録していただくと、以降、鑑賞会のご案内を差し上げます。
- 在校生は渋谷学を学び、卒業生は渋谷文化を味わう。そんな渋谷の魅力を楽しんでください。

No5 東京校歌祭が再開されます・絶賛(?)参加者募集中

お待たせしました。東京校歌祭が3年ぶりに開催されます、いや、されるはずです。皆さん、お友達を、旧友を誘ってご参加ください。

- 日時 11月3日(木…文化の日)
 - 会場 杉並公会堂(JR、地下鉄・荻窪駅徒歩5分)
- 卒業してからは、同期会と年に一度の校歌祭で校歌を歌うだけ。それでも歌詞の大方は覚えている。歌いながら青春の日々が思い出され、みんなが若人に見えてくるのが不思議です。
- 参加申込者には、後日、集合時間など詳細をご連絡します。

No6 同窓会創立100周年祝賀新年の集いのお知らせ

大正13年(1924)府立第一商業学校第1期生146名が卒業しました。それから100年、来年3月に100期生が卒業し、同時に同窓会創立100周年となります。それを記念して「一商同窓会創立100周年祝賀新年の集い」を開催します。多数の皆さまにご参集いただき、の新年と同窓会100周年を祝っていただきたく存じます。

- 日時 令和5年1月28日(土) 14時～
- 会場 渋谷東急REIホテル(渋谷西口) 予定
- 参加費 8,000円(一人当たり)

No7 ぶらりウォーキング

飛鳥山と染井の桜を愛でて温泉でひと休み

今回は江戸・吉宗将軍の時代から桜で有名な王子・飛鳥山と(駒込)染井の桜を見ながら散策します。そして、桜の美しさを堪能し、ちょっと疲れた身体を染井の湯処「さくら温泉」で癒そうというコースです。その後はいうまでもなく空腹を満たすことに…。ぜひ、お友達を、旧友を誘ってご参加ください。

- 日時 令和5年3月25日(土)
- ルート 王子・飛鳥山公園から旧古川庭園を抜けて染井霊園へ
- 詳細は別途、参加申込者に連絡させていただきます。

●編集雑記…編集部から皆さまへ

- 同窓会の仕事は思ったより多岐にわたる業務があり、やりがいがあり、勉強になり、面白いと感じています。今回はかなり先輩に頼ってしまいましたが、今後は本腰といれないと…と思います。来年の同窓会創立100周年祝賀会は楽しい会に行きます。(瀧澤由美子・57期)
- 一人じゃない。一商がある。(茨田美智子・68期)
- 役員として、少しずつ同窓会の役割を理解したいと思っはいるのですが、進歩としてはいま階段の1段目…。同じように同窓会が気になってはいるけど、よくわからない方、一緒に探りませんか? 肩身が狭く、お仲間募集中です♡笑(上野(谷口)絵理・84期)
- 会報58号をお読みいただきありがとうございます。これからも一商の先輩方と同窓会を盛り上げて行ければと考えております。様々なイベントを行う予定ですので、ぜひご参加頂ければ幸いです。(富澤恵大・93期)
- 18期～98期までの頂いたショートメッセージを全部のせて有りますので楽しみにお読みください。(大橋佳夫・35期)
- 44期同期会幹事の福田智子さんから、残念ながら永く続いた同期会を手仕舞いしたので残金47,131円を同窓会に寄付していただきました。44期の皆さんに感謝! ありがとうございます。(福岡達哉・41期)

●一商同窓会の活動は皆様の年会費と賛助会費で運営されております。

● [都立一商同窓会](http://www.isshou.jp/) <http://www.isshou.jp/> [検索](#)

より高くを共に求めて

デフ・パペットシアター・ひとみ支援

～ろう者と聴者が共に創る新しい人形劇～

結成当初二つの目標を掲げました。

- (一)障がいの有無に関わらず、大人も子どもも、また母語の違いを超えて楽しめる人形劇を創ること。
- (二)ろう者と聴者、お互いの感性を活かして、今までに無い新しい人形劇の表現に挑戦すること。 (人形劇団ひとみ座創立70周年記念誌) より抜粋

※デフリンピックってなに？

デフリンピック(Deaflympics)とは？耳の聞こえないアスリートのためのオリンピックです。

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックはこくさい的な「ろう者のためのオリンピック」なのです。

オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会がそれぞれ開かれます。ルールはオリンピックとほぼ同じですが、耳の聞こえない人のために様々な工夫がされています。

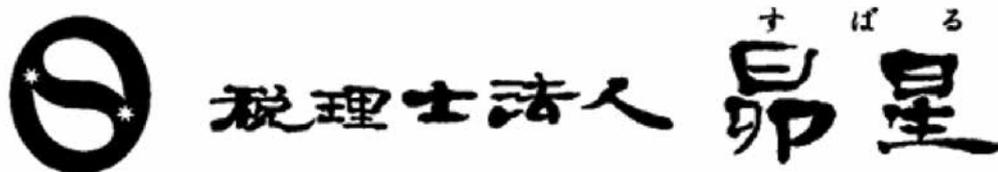
初めて開かれたのは、1924年のフランスの夏の大会でした。その時、9ヶ国、145人の選手が出場しました。2017年に第23回目の夏の大会がトルコのサムスンで行われ、史上最多の100ヶ国・地いき、約3,100人の選手が出場しました。残念ながらこれまで日本ではまだデフリンピックは開かれていません。100年超す歴史を持つ大会を2026年日本で開くことを目指しています。

デフリンピックは、ブラジル南部カシアスドスルで、聴覚障害者の国際スポーツ大会第24回デフリンピック夏季大会が2022年5月15日まで開催。

84歳、生涯現役を目指して！

定年も、転勤も、なし。土、日、祝日も無視。ソロバン一丁、高額所得者、日本各地の山々、ヒマラヤ6度、シルクロード3度、等。世界各地(アフリカを除く)旅行、南極大陸へ上陸、北極圏クルーズ2度。人生楽しく。「税理士冥利」につきます。後輩よ！一緒に働きませんか？

信頼の証明は、遺言書を作成、預託され、遺言執行の実績豊富。遺言書多数保管
なお、岩田(中大二部卒)1965年2月税理士登録(登録番号第15652号)。



代表社員 岩田克夫(第34期、山岳部) 社員税理士 佐藤秀一・社員税理士 小野寺信哉
障がい者のための「100年の人生設計」成年後見・家族信託
社団・財団法人設立運営 事業承継 相続 税務・会計など

〒164-0001 東京都中野区中野 2-29-15 サンハイツ中野 501
Tel.03-3380-2411 Fax.03-3380-2415
HP <https://www.subaru-keiri.co.jp/>